

研究班番号【59】
独裁国家について
～日本は独裁国家なのか～

社会班:西野 耕平、廣澤 大駕

要約

本研究の目的は、日本は独裁国家であるのかどうかを明らかにすることである。調査によって、日本は独裁国家ではないということがわかった。しかし今後日本もナチスドイツのように独裁国家になりうる可能性も十分に考えられる。そのためには若者の選挙への関心を高めることや首相が議会を解散できないような仕組みに変えていくことが大切であると結論づけた。

1. はじめに

独裁政治について研究し、現状の日本では、国会で自民党と公明党の連合政権の衆議院の議席数が3分の2近くを占めおり、国会で政策の是非を問う際に多数決をとった場合、その連合政権の政策がほぼ確実に通るようになってしまっていることや自民党が約60年間政権を握っていることがわかった。このことから、日本は独裁政治なのではないかという仮説を立てた。このことを調べるためにまず独裁とはどういうものなのかという定義について考えた。

2. 研究手法

独裁とはどういう状態であるものなのか。その定義を定めるために論文、文献をウェブなどで探し見つけた論文から独裁の定義に当たる共通している部分をまとめた。そして独自の定義を作りそれが今の日本の政治に当てはまるかを考えた。

独裁の定義を作るに当たっての参考にした例

- ・ 少数者への権力の集中という状況概念である独裁を類似した制度を持つ非民主主義国家に落とし込むことにより、それらが持つ特徴を表現する手段として用いられていることである。〈独裁とはなにか―大澤 傑〉
- ・ 少数者に権力が集中し、大衆の政治的自由が抑圧されている統治状態。〈ブリタニカ国際百科事典〉
- ・ 特定の個人、集団または階級が、権力を集中・独占して支配する政治形態。〈世大百科事界典 第2版〉
- ・ 開発独裁とは経済発展の途上にある国の政府が、国民の民主的な政治参加を抑制しつつ、急速な発展と近代化を目指す 〈揺れる金正恩唯一独裁体制 石丸次郎〉
- ・ 持続性のある独裁体制は独裁者が何でも独りで専制的に決めている体制ではなくて、制度化の進んだ体制であるということ。〈独裁国家の仕組み 武内宏樹・池内恵〉
- ・ 独裁とは「権力を横取り(arrogate―篡奪)し、独占して、無制限にこれを行行使する一人または一集団の支配」である。〈首相公選制における独裁 岡田大助〉

3. 結果

実験の結果から我々が導き出した定義は、少数者に権力が集中しており、国民の民主的な政治参加を抑制している状態であるというものである。この定義を現在の日本に当てはめると、前者の少数者に権力が集中しているという部分は自民党という一政党が与党になり続けているため当てはまっているが、後者の国民の民主的な政治参加を抑制しているという点では、現在日本の選挙制度は日本国憲法によって成年者による普通選挙を保障すると定められており、政治参加の抑制は行われていない。

4. 考察

現在世界では民主主義の国が多数で世界全体としてグローバル化が進んでおり、そうした中で独裁国家となれば国際社会から冷ややかな目で見られてしまうという点も今の日本が独裁政治を行っていない理由の一つであると考えた。現在は昔よりもより一層他の国々との関係が非常に大切である。もし日本が独裁国家となってしまうと他の国々からの日本への評価が変わってしまい国際的に孤立してしまう可能性もあると考えられる。よってそこで抑制力が働き日本が独裁国家とならない要因の一つとなっていると考察した。

5. 結論

結果から、現状の日本は独裁国家ではないが、いずれなりうる可能性を十分にはらんでいると言える。独裁国家として知られているナチスドイツもはじめは民主主義国家であったが、国民の投票によりヒトラーが選出されたことにより独裁国家へと変貌してしまった。このことから国民の投票というのは非常に大事であり、国の未来を左右すると言っても過言ではない。独裁国家への変貌を防ぐには国民の選挙への関心を上げ、さらに良い政治家を見分けられる目を養う力が必要であると考えられる。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

岡田大助「首相公選制における独裁」

<https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/104460/S13482084-65-P341-OKAD.pdf>

大澤傑「独裁とはなにか」

http://nda-repository.nda.ac.jp/dspace/bitstream/11605/90/1/2-5_%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E7%A7%91%E5%AD%A6%E6%8A%9C%E5%88%B7_%E5%A4%A7%E6%BE%A4%E5%85%88%E7%94%9F.pdf

石丸次郎「揺れる金正恩唯一独裁体制 ～孤立と粛清の四年を振り返る～」

https://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/publication/seminar/asset/seminar15/s210_1.pdf

武内宏樹・池内恵「独裁国家の仕組み」『公研』2016年10月号「対話」

<https://koken-publication.com/archives/393>